



茨城県の近代化遺産

(建造物等)

亀屋商事本館 (旧飯島製糸所本部)

古河市雷電町1-78

亀屋商事本館は、飯島製糸の事務所兼住宅である。一部が3階建の木造2階建てで、西南の隅には国会議事堂風の望楼がある。建築年代は、小屋裏に墨書があり、昭和10年9月19日に棟梁谷部貞雄によって上棟されたことがわかる。平成15年に行われた調査（『亀屋商事本館及び煉瓦倉庫調査報告書』）の成果に拠ると、本館の外観は横羽目板張りの壁に縦長の窓が並ぶ洋風建築の様式で、柱型にタイルを貼り、水平の軒蛇腹を大きく張り出させるなど、格式ある古典様式のモチーフを駆使しているところが特徴的であるという。

[出典：茨城県近代化遺産（建造物等）総合調査報告書 茨城県教育委員会刊]

主な内容

- ▼ 関東甲信越ブロック会議を開催
- ▼ 耕山寺で慰霊法要を挙行
- ▼ 足立参議院議員が台風被災地を視察
- ▼ 「建設フェスタ 2023」が開催

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 一般社団法人 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

小規模土工でICT活用推進を 関東甲信越地方ブロック会議で要望

全国建設業協会（全建）による令和5年度の関東甲信越地方ブロック会議が10月4日、都内の経団連会館で開催されました。本会からは「小規模土工におけるICT活用の推進」について要望し、理解を求めました。会議では国土交通省の幹部などを招き、各都県協会からの要望事項等について意見を交換しました。

あいさつで関東甲信越地方建設業協会会長の青柳剛会長は「時間外労働の上限規制適用を契機に、持続可能な建設業を生み出すための具体的な方策を産官学一体で示さねばならない大切な時期。建設業の課題は人材の確保と育成、生産性の向上、災害対応組織力の強化に集約される。各地域でそれぞれ異なる問題意識を持っている。本日の意見交換会が各地域の協会活動に資するもの」と期待を寄せました。

全建の奥村太加典会長は「魅力ある地域建設業を目指すに当たり、時間外労働時間の上限規制適用への対応は待ったなしの状況にある。令和3年度より週休2日と時間外労働の上限を年間360時間以内とすることを目指す『2+360（ツープラスサンロクマル）運動』を展開し、さらに9月から『適正工期見積り運動』も開始した。発注者の理解を得ながら適正な工期の下で働き方改革が進められるよう、業界一丸となった取り組みを進めている」と状況を説明しました。

関東地方整備局の藤巻浩之局長は「災害が発生した際に、常に地域の建設業者が真っ先に駆けつけてくれる。国民の安全安心を守るために引き続き協力していきたい」と述べました。

会議で本会からは、小規模土工工事におけるICT活用の推進について要望。施工者がICT導入の一步を踏み出せる施策について、さらなる充実を訴えました。国交省では、ICTアドバイ



会議では、各協会からの要望について意見を交わしました
(写真提供：全建)

ザーの充実や補助金のとりまとめ、現場で利用できる機器の活用を進めるなどと回答しました。

会議における各協会からの要望事項

- ◆公共事業予算の持続的・安定的な確保と大規模災害に備えた防災・減災対策の推進（長野県）
- ◆国・県との災害協定に基づく災害応急復旧活動での事故への救済措置（山梨県）
- ◆令和6年4月からの時間外労働時間の上限規制（群馬県）
- ◆総合評価方式での賃上げ加点措置（栃木県）
- ◆若者や女性から職業として選択される地域建設業（新潟県）
- ◆担い手確保に向けた適正な価格設定（千葉県）
- ◆働き方改革に対応した積算基準の見直し（神奈川県）
- ◆改正品確法の市町村への徹底（埼玉県）

顕彰と慰霊へ法要

先達に感謝、無事故誓う

本会は9月22日、建設功労者顕彰碑と建設労働災害殉職者慰霊碑を建立している耕山寺（常陸太田市瑞龍町）で法要を執り行いました。参列した石津健光会長や各副会長、太田支部の正副支部長などは、本会の発展に尽力された方々に感謝の祈りを捧げ、殉職者を慰霊し、安全無事故を祈願しました。

顕彰碑と慰霊碑は平成6年8月に耕山寺に建立。顕彰碑には協会の発展に尽力された方々を、慰霊碑には建設労働災害で殉職された方々をまつています。建立から30年を迎えるのを機に法要を挙げる。顕彰碑と慰霊碑で先人の功績に思いを馳せるとともに、工事の無事安全などへ祈りを捧げました。

法要について石津会長は「建立から30年を迎



本会幹部が法要と慰霊を行いました

えるのを前に改めて法要を行い、協会発展のためご尽力いただいた先達の方々に感謝を捧げた。また殉職された方々のご冥福をお祈りするとともに、無事故無災害を祈念させていただいた」としています。

「国土強靱化が必要」

足立参議院議員が
本県の台風被災地視察

足立敏之参議院議員が9月20日、台風第13号によって被災した本県の道路や河川の状況と現地対応を視察。本会からは石津健光会長や被災地である高萩支部の秋山光伯支部長、太田支部の瀬谷實支部長などが対応し、被災状況や応急対応の状況などを説明。復旧へ国の支援を要望しました。

足立議員は、日立市宮田町の主要地方道日立山方線の土砂崩れ・土砂堆積の現場を訪問。乗用車の立往生やトラック等が被災した状況や土砂撤去等の応急対応の説明を受けました。

続いて日立市十王町の主要地方道十王里美線の法面崩落現場、高萩市上手綱の二級河川関根川の被災箇所を視察。高萩支部の秋山支部長などが応急復旧状況を説明し、理解を求めました。



秋山高萩支部長（右）が足立議員（左）に被災状況などを説明しました

被災状況について足立議員は「これまであまり災害が発生しなかった箇所で被害が出ている。やはり国土強靱化を進めなくてはならない。県をはじめ地元の建設業者の応急対応に心から感謝申し上げる」と話しました。

建設フェスタ2023 開催

子どもたちに建設業の魅力を発信

本会をはじめとする県内の官民の建設関係団体は10月7日、「建設フェスタ2023」をひたちなか市の笠松運動公園の特設会場で開催しました。各地から1万5000人が来場し、本会が主催した建設重機ショーをはじめ、親子競演丸太切り、建設作業体験リレーなどに親しんでももらいました。参加した団体は、建設業の魅力や公共事業の必要性などをPRしました。



重機ショーを初開催



親子連れなど1万5000人が来場しました



建設作業体験リレー



クイズラリーも実施



親子競演丸太切り



高所作業車体験

教材作成や意識調査話し合う

土木委員会WG



土木委員会(梅原基弘委員長)のワーキンググループ(WG)が9月29日に水戸市の協会本部で開催され、建設業の魅力を発信する出前授業の教材作成、担い手の確保や職場環境の改善のために実施を計画している経営者向けの意識調査について話し合いました。梅原委員長は「若年者へ建設業をPRできる機会を大切にしたい。職場環境の改善には経営者の理解の面もあり、実効的な方策を検討するためアンケート調査を実施する」とあいさつしました。

2級土木施工管理

二次合格へ講習会



本会は、茨城県土木施工管理技士会と共に令和5年度の2級土木施工管理技術検定の第二次検定対策講習会を9月25日と26日に水戸市の県建設技術研修センターで開催。参加者は、具体的な勉強法や施工経験記述のポイントなどを研修しました。講習内容は出題分野の解説、勉強法、学習スケジュール、施工経験記述の書き方、記述例の具体的な対策など。記述の添削も行いました。

健康経営へ オンラインセミナー



本会は9月20日、茨城県健康推進課と共に「健康経営オンラインセミナー」を開催。健康経営が建設業界の人手不足解消につながることや健康づくり推進事業所認定制度、いばらき健康経営推進事業所認定制度について説明を受けました。従業員の健康管理や健康づくりは主に福利厚生の観点から行われてきましたが、近年では生産性の向上や人手不足解消にもつながるなど経営面のメリットが注目されています。企業と従業員が良い関係になる取り組みとしても関心が高まっています。

水戸工業高校生に講習

2級土木・建築の受検対策



本会は建設業への入職を促進するため、茨城県立水戸工業高校の土木科と建築科の2年生を対象に、令和5年度の2級土木施工管理技術検定と2級建築施工管理技術検定の第1次検定受検対策講習会を行っています。講師を派遣して学んでもらい、合格を後押しします。建設業における担い手確保対策の一環として支援を行っています。

労災防止の功労者を表彰 県産業安全衛生大会

建設業労働災害防止協会茨城県支部（石津健光支部長）など県内の労働災害防止団体による令和5年度の茨城県産業安全衛生大会が10月4日に水戸市のザ・ヒロサワ・シティ会館で開催され、労働災害の防止や職場の健康づくりに尽力した企業や現場などを表彰しました。

建災防茨城県支部関係の受賞者は次の通りです（敬称略）。

【茨城労働局長表彰】

◆団体賞

・建設業労働災害防止協会県支部日立分会（高萩市）

【茨城労働基準協会連合会長表彰】

◆事業場賞＝成島建設（つくばみらい市）

【建設業労働災害防止協会茨城県支部長表彰】

◆事業場賞＝大洋建設（高萩市）、成建工業（つ



建災防県支部日立分会が茨城労働局長表彰を受賞し、秋山分会長（右）が表彰状を受け取りました

くばみらい市）、松野建設（稲敷市）

◆現場賞＝高塚建設工業（八千代町）、森田建設工業（古河市）、大木建設（常陸太田市）

◆功績賞＝小野口整慶（常陽開発工業、行方市）、山口五郎（安全衛生教育講師）

◆職長賞＝佐川修司（瀧工務店、常陸大宮市）



土浦支部（小林伸行支部長）は10月5日、「道の日」清掃ボランティア活動を実施しました。土浦分会、つくば分会、石岡分会の3分会合わせて372人が参加し、主要な国道、県道に捨てられたごみを拾い集めました。出発式で小林支部長は「公道で作業するので、第三者との接触事故などないように作業していただきたい」と無事故での活動と呼び掛けました。



筑西支部（小薬拓巳支部長）は9月27日、「道の日」道路清掃活動を筑西市、結城市、桜川市内の国道、県道、主要市道で実施しました。支部員約350人のほか、県筑西土木事務所や各市の職員も参加し、ごみの回収に尽力。小薬支部長の代理で、桜川市未来クラブ協同組合の白田唯雄理事長は「車の往来が多いので事故に注意していただき、安全第一で作業を」と呼び掛けました。

水戸支部
活動報告働き方改革と
若手育成で講習会

水戸支部（下田徳行支部長）は9月20日、「建設業の働き方改革と若手の育成（建設DXとスマホの活用）」の経営講習会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催。若手・女性の育成方法、労働時間短縮への取り組み、ICT土工の実施、新技術の活用などを研修しました。下田支部長は「学んだことを各会社内で共有し、業務に役立ててほしい」と促しました。

筑西支部
活動報告総合評価などで
県と意見交換

筑西支部（小薬拓巳支部長）は8月30日、茨城県筑西土木事務所（大森智所長）との意見交換会を支部会館で開催。総合評価方式や入札参加条件などについて意見を交わしました。建設未来協議会と建女ひばり会も参加。小薬支部長は『建設業界の危機は社会基盤の危機』という記事に触れ、「魅力があり、国民の安心安全に貢献できる団体へご指導を」とあいさつしました。

水戸支部
活動報告41回目の
献血活動

水戸支部（下田徳行支部長）は9月21日、「愛の献血会」活動を水戸市の茨城県建設技術研修センターで実施。会員企業の従業員など140人が協力しました。水戸支部では社会貢献活動として例年、献血に協力しており、今回で41回目となりました。献血活動について下田支部長は「今回も多くの方にご協力いただき、大変に感謝している。今後も続けていきたい」と話しています。

境支部
活動報告ASP、
CCUSを研修

境支部（新井孝支部長）は、県の情報共有システム（ASP）の講習会を9月14日に、建設キャリアアップシステム（CCUS）の講習会を9月28日に支部会館で開催。生産性の向上へ両システムの活用法などを研修しました。新井支部長は「現場をスムーズにいくためにはどうすれば良いのか。皆さまとともに勉強してまいりたい」などとあいさつしました。

令和5年度 建設業退職金共済制度加入促進強化月間

令和5年10月1日～令和5年10月31日

建退共は建設業で働く労働者のための退職金制度です

独立行政法人 勤労者退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部
建退共茨城県支部

TEL 029-225-0095 FAX 029-225-1158
<https://www.kentaikyo.taisyokukin.go.jp>

建退共の電子申請

実務担当者へ説明会



本会は、建設業退職金共済制度で電子申請を推進するため、会員企業向けのパソコン操作の説明会を9月13日と14日に水戸市の協会本部で開催しました。参加した実務担当者は、建退共本部の担当者から電子申請の流れなどを学びました。

電子申請方式は、共済証紙の代わりとなる「退職金ポイント（電子掛金）」を購入し、月に一度、共済契約者が被共済者の就労日数を「電子申請専用サイト」に登録することで、登録された就労日数に応じて保有している退職金ポイントを掛金として納付するもの。パソコンで作業ができるため、業務の合理化につながります。

ますます安心。充実の制度。

契約者割戻金制度が始まっています。

- 契約者割戻金制度により掛金負担が軽減
- 手厚い補償
保険金区分合計
最高5,000万円
- 労働者と企業のリスクをカバー

社員と家族、会社を守るために。

建設共済保険

法定外労災補償制度

【建設共済保険】の他にも、次のような事業を行っています。

- 育英奨学事業
- 労働安全衛生推進事業

公団協理人 建設業福祉共済団

■ 取扱機関：（一社）茨城県建設業協会

正確な年金の試算や資料請求はこちらまで

0120-913-931

建設共済保険 検索

<https://www.kyouseiaidam.or.jp/>

10月・11月は建設共済保険加入促進月間です

会員の動向

〈代表者変更〉

▽土浦支部

(株)山本工務店 山本 和男 → 山本 一廣

〈住所変更〉

▽潮来支部

三国屋建設(株) 〒314-0112 神栖市知手中央2-1-2
→ 〒314-0116 神栖市奥野谷8083-1 (3階)